



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧師 : 杉村 幸 (日語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimurai950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■ 「ホウ雪崩」

『高熱隧道』（新潮社・一九六七年）は吉村昭によって刊行され、僕が彼の書にのめり込む切っ掛けとなった。以来、彼の書の追っかけをしたものだ。黒部川上流の黒部峡谷は、雨量、河川勾配からして、早くから電源開発の最適地として注目され、樺平から上流にダムを設置し、樺平付近の水力発電所まで水路トンネルで水を落下させて発電を行なうという黒部川第三発電所の建設工事が一九三六年八月に着工された。そこでまず作業員のためにコンクリート四階建ての頑丈な宿舍が川べりに建てられたのだった。ところが思いもよらない神隠しとしか言いようのない事件が発生する。ホウ（泡）雪崩である。

一九三八年十二月二十七日、富山県下新川郡宇奈月町志合谷（現在の黒部市）でホウ雪崩が発生し、作業員が宿泊していた鉄筋コンクリート造りの宿舍を襲った。それによってその三階および四階部分が突然どこかに消えてしまったのである。この搜索にあたって、現場付近の谷底付近をくまなくさがしたのだが、三階からの建物が見つからない。ましてやその中にいた作業員も彼らの遺品なども、その手がかりすらも得られない状況であった。搜索は打ち切られた。

ところが春になって近くの付近を一望に見渡せる小高い丘に登った所、対岸の沢にその残骸が見つかったのである。川の対岸までは六百メートルもある。つまりホウ雪崩によって鉄筋コンクリートの三階からの建物がそっくりそのまま小高い丘を越えて、対岸の沢まで飛ばされたというのだ。これによって八十四人の死者（うち四十七人は遺体の確認ができなかった）を出している。このホウ雪崩は多雪地で、多量の降雪を伴う厳冬の積雪が安定しないときに稀に起きる。通常の雪崩とは違い、雪崩を構成する雪煙が最大で時速二百キロメートル以上あり、建造物などを破壊するほどの大きな被害をもたらすという。

作業員たちは、雪崩が起こった時、恐らく誰も、何が起こったのかさえも知らずに、空中を飛ばされ、そのまま対岸に叩きつけられてしまったに違いない。マタイに「すると突然、海上に激しい暴風が起って、舟は波にのまれそうになった」（八・24）とある。この舟に乗っていたのは主の弟子たちであった。それは予期しない嵐であった。だが、そんな時にも彼らには叫び求めることのできる主イエスがおられた。雪崩に遭った作業員たちは、その息の絶えるまでに、一体誰の名を呼び求めたのであろうか。天空にあった彼ら作業員の魂はそのまま主のみ手に運ばれて安らかであったことをただ祈り願うのみである。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

